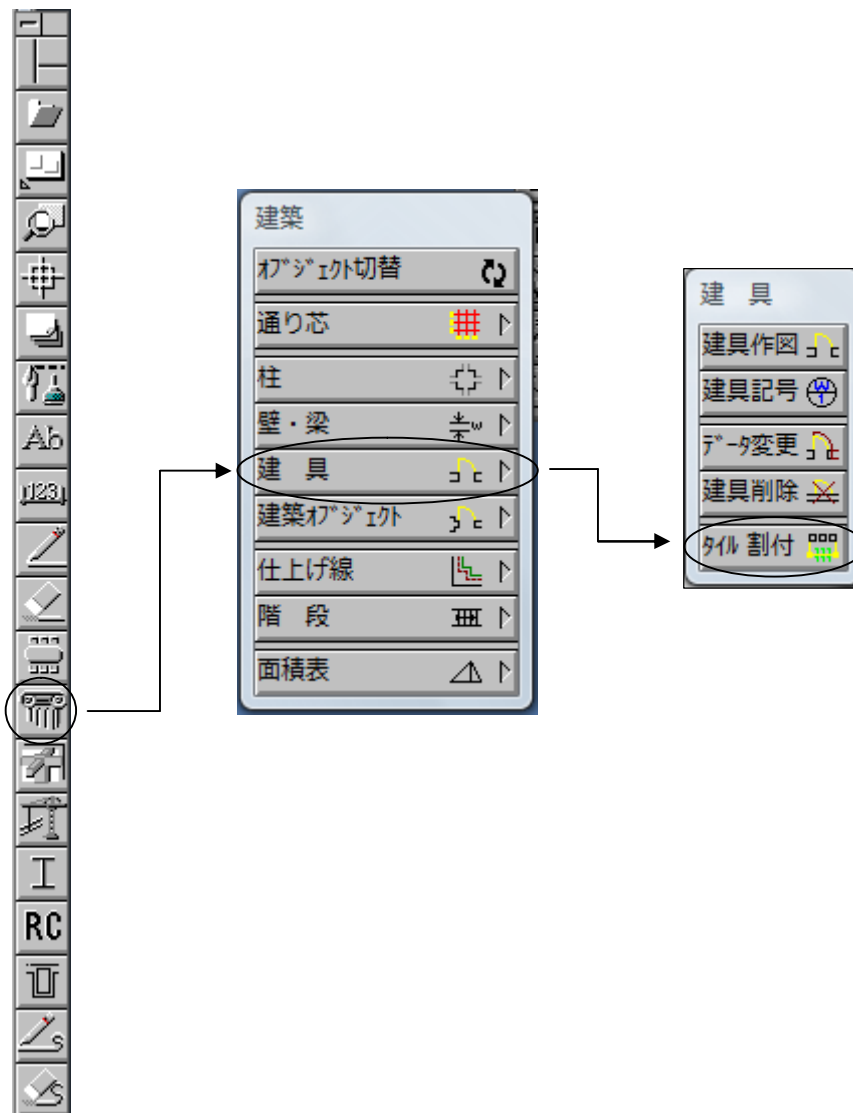


adpack-PRO 2011 建築統合システム1・2 (Ver.14.0) 新機能説明書

2010.7.20

[タイル割付]コマンド 簡易マニュアル

1. メニュー構成



※ 上記のメインメニューは、建築統合システム2のものであります。

2. ダイアログ

タイル割設定ダイアログ

基本寸法値

真物[幅]	95.0	役物a[幅]	45.0	伸縮目地a	20.0	真物[高]	45.0
目地[幅]	5.0	役物b[幅]	95.0	伸縮目地b	25.0	目地[高]	5.0

基本寸法値読込 基本寸法値保存

割付条件設定

[伸縮目地本数(除く端部目地)]

始端条件 真物 伸縮目地a 0

終端条件 真物 伸縮目地b 0

基本寸法に設定

割付長さ

割付長さ 10000.0 割付2点を指示 画面に長さ設定

割付計算

真物タイル数: 100 - + =条件変更反映=

目地幅: 5.050 伸縮a幅: 20.0 調整要素 タイル目地

割付式 $(95 \times 100) + (5.051 \times 99)$

式表示タイプ: 表記なし レイヤ設定

施工長と表記タイプ: 無し 寸法値斜字体 式配置

平面作図 立面作図 キャンセル

- ① コマンド起動時割付長さは初期化しますので、最初の長さ表示は“10000. 0”に設定されます。
[割付 2 点を指示]で 2 点間を指示することにより、長さを表示します。
割付長さのキーボードからの直接入力はありません。
- ② 今回のバージョンでは、[画面に長さ設定]は対象外にしていますので、使用できません。
- ③ レイヤ設定により、作図するレイヤーを選択することができます。

レイヤ設定

レイヤ設定

伸縮目地 TATEGU

タイル TATEGU

寸法 SUNPO

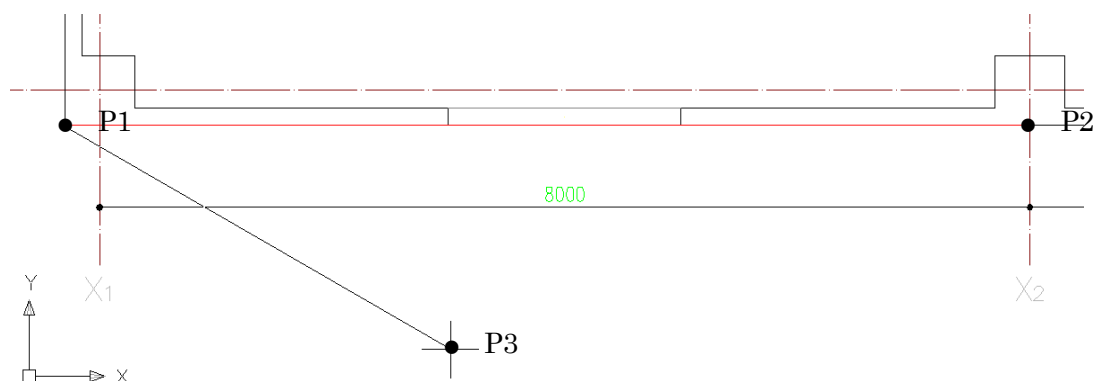
文字 MOJI

OK キャンセル

3. タイル割付コマンド

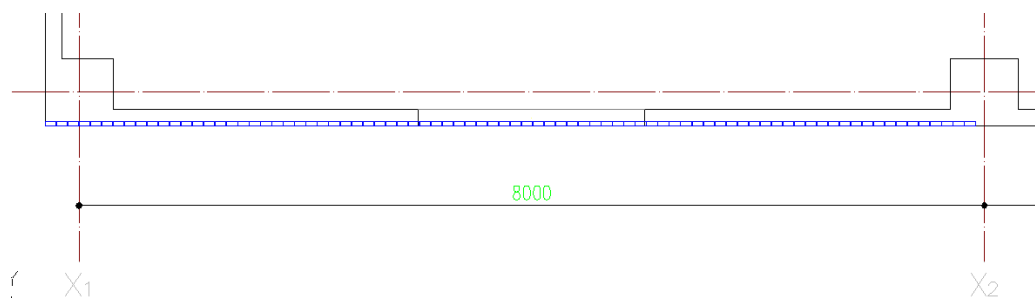
- ① メニューより「タイル割付」を選択します。またはキーボードより“TW”と入力します。
- ② ダイアログが表示されるので諸条件を設定します。
(ここでは、「伸縮目地 a : 2」「伸縮目地 b : 2」に設定しています。)

- ③ 「割付 2 点を指示」をクリックすると、一旦ダイアログが非表示になり、画面指示の状態になります。割付の始点終点と伸縮目地・寸法を作図する方向を指示します。
 - 》割付の 1 点目を指示 : P1
 - 》割付の 2 点目を指示 : P2
 - 》伸縮目地・寸法の作図方向を指示 : P3



- ④ 割付 2 点間を指示すると、再びダイアログが表示されます。この時割付式は諸条件と 2 点間の距離により更新がされます。
諸条件を変更し目的とする割付が確認されたら、「平面作図」をクリックします。

- ⑤ 割付の始点終点間に伸縮目地を配置しない状態でタイルが仮作図されます。



- ⑥ 伸縮目地の配置位置を指示します。

》伸縮目地[a](1/2)の配置位置を指示(S=再作図/a=伸縮目地[a]/b=伸縮目地[b]) : 配置位置を指示

伸縮目地配置を“b”に変更する場合は、キーボードから”b”を入力します。

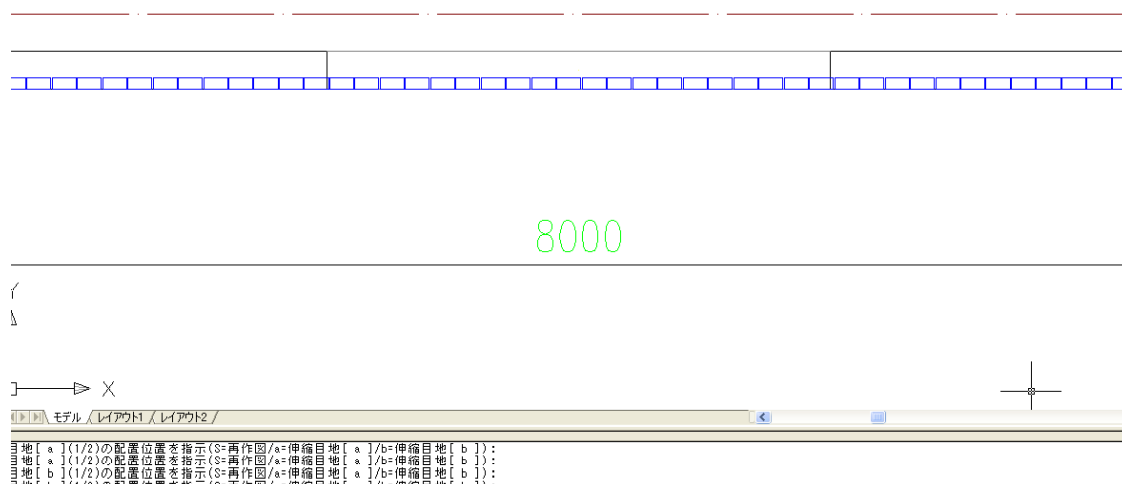
》伸縮目地[a](1/2)の配置位置を指示(S=再作図/a=伸縮目地[a]/b=伸縮目地[b]) : b

》伸縮目地[b](1/2)の配置位置を指示(S=再作図/a=伸縮目地[a]/b=伸縮目地[b]) :

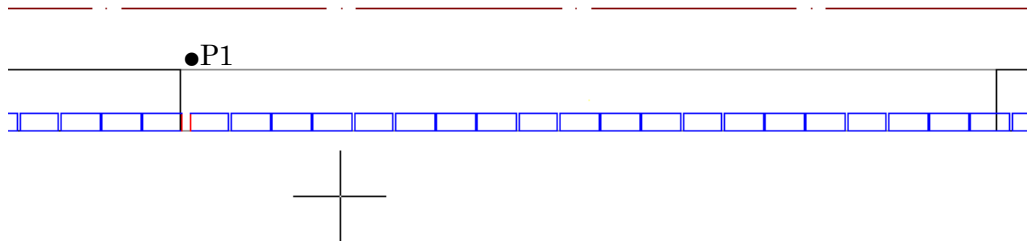
↑ b に代わる

伸縮目地 a の配置が終わると自動的に b に、b の配置が終わると a にというように、残っている伸縮目地に自動的に切り替わります。

- ⑦ 開口部を拡大して伸縮目地を配置します。タイルは仮表示なので画面拡大縮小によって一旦消去されます。このような場合キーボードより、「S=再作図」で画面に再作図します。



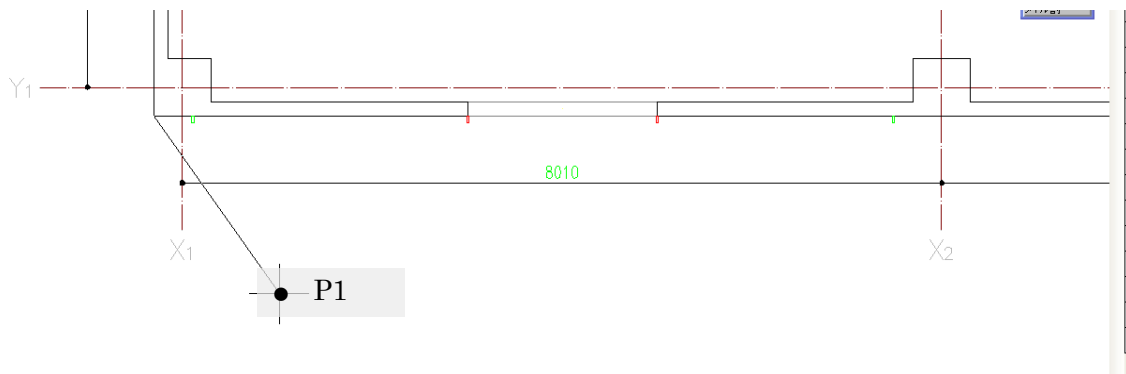
- ⑧ 伸縮目地を配置します。開口部の端部近くを指示すると、伸縮目地（a の場合は赤、b の場合は緑で表示）が色を変えて表示されます。
- 》伸縮目地[a](1/2)の配置位置を指示(S=再作図/a=伸縮目地[a]/b=伸縮目地[b]) : **P1 辺りを指示**



画面で確認し変更するかしらないかを選択します。変更しない場合は **Enter** を入力します。

》伸縮目地[a](1/2)の位置を変更しますか<Y/N>(N) : **Enter**

- ⑨ 全ての伸縮目地を繰り返し配置すると、ルーラを作図するかどうかを聞いてきます。作図する場合は、**Enter** を入力します。
- 》ルーラを作図しますか(Y/N)<Y> :
- ⑩ ルーラの作図する離れを画面指示します。方向は既に③で指示しているので、割付始点からの距離を指示します（キーボードから直接実寸による距離でも入力することもできます）。作図する方向と逆に指示しても距離だけ参考にして作図されます。



- ⑪ ルーラ、寸法、割付式を作図してコマンドが終了します。

